

## 感染防止におけるキャンパス内での基本的なルールについて

7月1日（水）以降、キャンパス内の入構を一部緩和します。これに関連して、感染防止におけるキャンパス内での基本的なルールを以下の通りお知らせします。なお、個別に追加の注意事項をお知らせする場合がありますので、併せて遵守していただくようお願いします。

※このルールについては、随時見直しを図ってまいりますので、ご了承ください。

【2020年7月1日掲載】

### 1. 体調管理と行動

- ①体調不良者は、キャンパスに入構できません。特に、発熱、呼吸器症状、倦怠感、その他の風邪症状、味覚・嗅覚の障害がある場合は自宅待機とする。
- ②マスクを必ず着用する。
- ③キャンパス内には必要以上にとどまらず、用事が済んだら速やかに退出する。
- ④許可を得て訪問する場所以外には立ち入らない。
- ⑤入構の際には、各施設等の入口に設置されている手指消毒液を利用する。
- ⑥手洗いを励行する。特に共用の物品や設備に触れた場合は、顔に触れる前に手を洗う。
- ⑦用具の共有をしない（共有をする場合には、消毒を行う）。

### 2. 部屋の管理

- ①3密を避けるため、各時間帯の学生の予約制による図書館利用は10名まで、2年生の予約制による進路資料室利用は3名までとする。
- ②十分な対人距離（2m程度、最低でも1m）を確保し、できるだけ対面は避ける
- ③入退室記録（氏名、入退室時刻等）を残す。
- ④可能な場合はドアを開放し、かつ窓を開け換気を徹底する。

### 3. 感染の疑いがある場合

- ①家を出る前に検温し、少しでも体調不良を感じる時は登校・出勤しない。
- ②来校途中もしくは大学内で体調不良を感じた場合は、絶対に無理をせず直ちに帰宅する。  
大学内で体調不良を感じた場合は申し出ること。
- ③医療機関に相談し、感染または疑いが発生した場合には、問い合わせフォームやメールで直ちに大学に報告する。

以上